

平成23年5月27日

三重県議会議長 山本 教和 様

氏名 中嶋 年規 

23年度4月分政務調査費に係る収支報告について

三重県政務調査費の交付に関する条例第10条第1項（第3項）の規定により、別紙のとおり23年度4月分政務調査費収支報告書を提出します。

# 平成23年度 政務調査費収支報告書(個人分)

氏名 中嶋 年規

1 収入  
政務調査費 ¥180,000円

2 支出 (単位：円)

項目	支出額	内 訳	備 考
調査研究費	¥46,480	旅費	¥46,480
		需用費	¥0
		委託料	¥0
		負担金	¥0
		その他	¥0
研修費	¥90,570	旅費	¥90,570
		負担金	¥0
		その他	¥0
会議費	¥0	旅費	¥0
		需用費	¥0
		使用料	¥0
		その他	¥0
資料作成費	¥0	需用費	¥0
		手数料	¥0
		その他	¥0
資料購入費	¥4,976	図書購入費	¥2,000
		その他資料購入費	¥2,976
広報費	¥0	旅費	¥0
		需用費	¥0
		通信運搬費	¥0
		その他	¥0
事務所費	¥0	賃借料	¥0
		管理運営費	¥0
		その他	¥0
事務費	¥1,385	需用費	¥0
		通信運搬費	¥1,385
		その他	¥0
人件費	¥0	人件費	¥0
合 計	¥143,411		

3 残余 ¥36,589円

23100002

平成23年4月 調査研究活動の実施概要報告書

議員名 中嶋 年規

調査研究活動の主な内容、成果等

(概括)

県政の諸課題のうち、平成23年3月11日に発生した東日本大震災を受けた今後の防災対策の見直し、漁業や観光業などを含めた復旧・復興の取組に関するセミナー、シンポジウムへ参加し、さまざまな専門的情報を得た。

また、引き続き課題となっている県立病院改革の動向に関する調査やシャープをはじめとする本県産業の柱となっているFPD(フラットディスプレイ産業)の今後に関する調査を行なった。


さらに、TPPに関するシンポジウムと共同通信社とアメリカ合衆国ジョージタウン大学が共催する「ジョージタウン大学リーダーシッププログラム」へ参加し、国際的な視点から県政が抱える課題や今後のあり方について学んだ。

(成果等)


これらの政務調査活動を通じて得た情報などについてホームページを通じて報告し意見収集を行った。また、政務調査を通じて得た情報や知見をもとに、今後の議会における本会議や常任・特別委員会、各種検討会、執行部との協議などにおいてさまざまな政策提言を行い、県政への反映に努める。

# 調查研究費


23100004

旅行者 職・氏名・印	三重県議会議員 中嶋 年規 																																																			
用途	漁業振興に関する調査																																																			
調査日程 及び 調査先	平成 23 年 4 月 12 日 ~ 平成 23 年 4 月 12 日 三重 都・道・府・県 (郡) 津 市・町・村 (調査先名称) 三重県議会議事堂																																																			
支出内訳	<table border="0"> <tr> <td>1 旅費</td> <td></td> <td>4,080 円</td> </tr> <tr> <td>(運賃等1)</td> <td>近鉄 : 鷺方 ←→ 津</td> <td>4,080 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等2)</td> <td></td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等3)</td> <td></td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等4)</td> <td></td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(自家用車使用)</td> <td>30 円 × km =</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(宿泊費)</td> <td>16,500 円 × 0 泊 =</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(調査雑費)</td> <td>3,000 円 × 0 日 =</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額1)</td> <td></td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額2)</td> <td></td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額3)</td> <td></td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>2 付随する経費</td> <td></td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(参加費、資料代等)</td> <td></td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(手土産代)</td> <td>円 × 箇所 =</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他1)</td> <td>)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他2)</td> <td>)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他3)</td> <td>)</td> <td>0 円)</td> </tr> </table>	1 旅費		4,080 円	(運賃等1)	近鉄 : 鷺方 ←→ 津	4,080 円)	(運賃等2)		0 円)	(運賃等3)		0 円)	(運賃等4)		0 円)	(自家用車使用)	30 円 × km =	0 円)	(宿泊費)	16,500 円 × 0 泊 =	0 円)	(調査雑費)	3,000 円 × 0 日 =	0 円)	(加減額1)		0 円)	(加減額2)		0 円)	(加減額3)		0 円)	2 付随する経費		0 円	(参加費、資料代等)		0 円)	(手土産代)	円 × 箇所 =	0 円)	(その他1)	)	0 円)	(その他2)	)	0 円)	(その他3)	)	0 円)
1 旅費		4,080 円																																																		
(運賃等1)	近鉄 : 鷺方 ←→ 津	4,080 円)																																																		
(運賃等2)		0 円)																																																		
(運賃等3)		0 円)																																																		
(運賃等4)		0 円)																																																		
(自家用車使用)	30 円 × km =	0 円)																																																		
(宿泊費)	16,500 円 × 0 泊 =	0 円)																																																		
(調査雑費)	3,000 円 × 0 日 =	0 円)																																																		
(加減額1)		0 円)																																																		
(加減額2)		0 円)																																																		
(加減額3)		0 円)																																																		
2 付随する経費		0 円																																																		
(参加費、資料代等)		0 円)																																																		
(手土産代)	円 × 箇所 =	0 円)																																																		
(その他1)	)	0 円)																																																		
(その他2)	)	0 円)																																																		
(その他3)	)	0 円)																																																		

領収書No

旅行者 職・氏名・印	三重県議会議員 中嶋 年規 																																		
用途	産業振興に関する調査（ファインテックジャパンへの参加）																																		
調査日程 及び 調査先	平成 23 年 4 月 13 日 ~ 平成 23 年 4 月 13 日 東京 都・道・府・県 (郡) 江東区 市・町・村 (調査先名称) 東京ビックサイト																																		
支出内訳	<table border="0"> <tr> <td>1 旅費</td> <td>38,500 円</td> </tr> <tr> <td>(運賃等1 近鉄 : 鵜方 ↔ 名古屋)</td> <td>6,960 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等2 JR : 名古屋 ↔ 東京)</td> <td>28,540 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等4)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(自家用車使用 30 円 × km =</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(宿泊費 16,500 円 × 0 泊 =</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(調査雑費 3,000 円 × 1 日 =</td> <td>3,000 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額1)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額2)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>2 付随する経費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(参加費、資料代等)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(手土産代 円 × 箇所 =</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他1 )</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他2 )</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他3 )</td> <td>0 円)</td> </tr> </table>	1 旅費	38,500 円	(運賃等1 近鉄 : 鵜方 ↔ 名古屋)	6,960 円)	(運賃等2 JR : 名古屋 ↔ 東京)	28,540 円)	(運賃等3)	0 円)	(運賃等4)	0 円)	(自家用車使用 30 円 × km =	0 円)	(宿泊費 16,500 円 × 0 泊 =	0 円)	(調査雑費 3,000 円 × 1 日 =	3,000 円)	(加減額1)	0 円)	(加減額2)	0 円)	(加減額3)	0 円)	2 付随する経費	0 円	(参加費、資料代等)	0 円)	(手土産代 円 × 箇所 =	0 円)	(その他1 )	0 円)	(その他2 )	0 円)	(その他3 )	0 円)
1 旅費	38,500 円																																		
(運賃等1 近鉄 : 鵜方 ↔ 名古屋)	6,960 円)																																		
(運賃等2 JR : 名古屋 ↔ 東京)	28,540 円)																																		
(運賃等3)	0 円)																																		
(運賃等4)	0 円)																																		
(自家用車使用 30 円 × km =	0 円)																																		
(宿泊費 16,500 円 × 0 泊 =	0 円)																																		
(調査雑費 3,000 円 × 1 日 =	3,000 円)																																		
(加減額1)	0 円)																																		
(加減額2)	0 円)																																		
(加減額3)	0 円)																																		
2 付随する経費	0 円																																		
(参加費、資料代等)	0 円)																																		
(手土産代 円 × 箇所 =	0 円)																																		
(その他1 )	0 円)																																		
(その他2 )	0 円)																																		
(その他3 )	0 円)																																		

領収書No



旅行者 職・氏名・印	三重県議会議員 <div style="text-align: right;">                     中嶋 年規  (印)                 </div>																																		
用途	観光振興に関する調査																																		
調査日程 及び 調査先	平成 23 年 4 月 16 日 ~ 平成 23 年 4 月 16 日  三重 都・道・府・県 (郡) 志摩 市・町・村  (調査先名称) 志摩観光農園、志摩マリンランドほか																																		
支出内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">1 旅費</td> <td style="text-align: right;">3,900 円</td> </tr> <tr> <td>  (運賃等1)</td> <td style="text-align: right;">0 円)</td> </tr> <tr> <td>  (運賃等2)</td> <td style="text-align: right;">0 円)</td> </tr> <tr> <td>  (運賃等3)</td> <td style="text-align: right;">0 円)</td> </tr> <tr> <td>  (運賃等4)</td> <td style="text-align: right;">0 円)</td> </tr> <tr> <td>  (自家用車使用</td> <td style="text-align: right;">30 円 × 30 km = 900 円)</td> </tr> <tr> <td>  (宿泊費</td> <td style="text-align: right;">16,500 円 × 0 泊 = 0 円)</td> </tr> <tr> <td>  (調査雑費</td> <td style="text-align: right;">3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)</td> </tr> <tr> <td>  (加減額1)</td> <td style="text-align: right;">0 円)</td> </tr> <tr> <td>  (加減額2)</td> <td style="text-align: right;">0 円)</td> </tr> <tr> <td>  (加減額3)</td> <td style="text-align: right;">0 円)</td> </tr> <tr> <td>2 付随する経費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>  (参加費、資料代等</td> <td style="text-align: right;">0 円)</td> </tr> <tr> <td>  (手土産代</td> <td style="text-align: right;">円 × 箇所 = 0 円)</td> </tr> <tr> <td>  (その他1</td> <td style="text-align: right;">) 0 円)</td> </tr> <tr> <td>  (その他2</td> <td style="text-align: right;">) 0 円)</td> </tr> <tr> <td>  (その他3</td> <td style="text-align: right;">) 0 円)</td> </tr> </table>	1 旅費	3,900 円	(運賃等1)	0 円)	(運賃等2)	0 円)	(運賃等3)	0 円)	(運賃等4)	0 円)	(自家用車使用	30 円 × 30 km = 900 円)	(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)	(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)	(加減額1)	0 円)	(加減額2)	0 円)	(加減額3)	0 円)	2 付随する経費	0 円	(参加費、資料代等	0 円)	(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)	(その他1	) 0 円)	(その他2	) 0 円)	(その他3	) 0 円)
1 旅費	3,900 円																																		
(運賃等1)	0 円)																																		
(運賃等2)	0 円)																																		
(運賃等3)	0 円)																																		
(運賃等4)	0 円)																																		
(自家用車使用	30 円 × 30 km = 900 円)																																		
(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)																																		
(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)																																		
(加減額1)	0 円)																																		
(加減額2)	0 円)																																		
(加減額3)	0 円)																																		
2 付随する経費	0 円																																		
(参加費、資料代等	0 円)																																		
(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)																																		
(その他1	) 0 円)																																		
(その他2	) 0 円)																																		
(その他3	) 0 円)																																		

領収書No

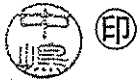
研 修 費

23100008




旅行者 職・氏名・印	三重県議会議員 中嶋 年規	 																																																			
用途	東日本大震災復興セミナーへの参加																																																				
調査日程 及び 調査先	平成 23 年 4 月 19 日 ~ 平成 23 年 4 月 19 日 東京 都・道・府・県 (郡) 港区 市・町・村 (調査先名称) 日本財団ビル																																																				
支出内訳	<table border="0"> <tr> <td>1 旅費</td> <td></td> <td>38,500 円</td> </tr> <tr> <td>(運賃等1)</td> <td>近鉄 : 鷺方 ↔ 名古屋</td> <td>6,960 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等2)</td> <td>JR : 名古屋 ↔ 東京</td> <td>28,540 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等3)</td> <td></td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等4)</td> <td></td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(自家用車使用)</td> <td>30 円 × km =</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(宿泊費)</td> <td>16,500 円 × 0 泊 =</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(調査雑費)</td> <td>3,000 円 × 1 日 =</td> <td>3,000 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額1)</td> <td></td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額2)</td> <td></td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額3)</td> <td></td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>2 付随する経費</td> <td></td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(参加費、資料代等)</td> <td></td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(手土産代)</td> <td>円 × 箇所 =</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他1)</td> <td>)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他2)</td> <td>)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他3)</td> <td>)</td> <td>0 円)</td> </tr> </table>		1 旅費		38,500 円	(運賃等1)	近鉄 : 鷺方 ↔ 名古屋	6,960 円)	(運賃等2)	JR : 名古屋 ↔ 東京	28,540 円)	(運賃等3)		0 円)	(運賃等4)		0 円)	(自家用車使用)	30 円 × km =	0 円)	(宿泊費)	16,500 円 × 0 泊 =	0 円)	(調査雑費)	3,000 円 × 1 日 =	3,000 円)	(加減額1)		0 円)	(加減額2)		0 円)	(加減額3)		0 円)	2 付随する経費		0 円	(参加費、資料代等)		0 円)	(手土産代)	円 × 箇所 =	0 円)	(その他1)	)	0 円)	(その他2)	)	0 円)	(その他3)	)	0 円)
1 旅費		38,500 円																																																			
(運賃等1)	近鉄 : 鷺方 ↔ 名古屋	6,960 円)																																																			
(運賃等2)	JR : 名古屋 ↔ 東京	28,540 円)																																																			
(運賃等3)		0 円)																																																			
(運賃等4)		0 円)																																																			
(自家用車使用)	30 円 × km =	0 円)																																																			
(宿泊費)	16,500 円 × 0 泊 =	0 円)																																																			
(調査雑費)	3,000 円 × 1 日 =	3,000 円)																																																			
(加減額1)		0 円)																																																			
(加減額2)		0 円)																																																			
(加減額3)		0 円)																																																			
2 付随する経費		0 円																																																			
(参加費、資料代等)		0 円)																																																			
(手土産代)	円 × 箇所 =	0 円)																																																			
(その他1)	)	0 円)																																																			
(その他2)	)	0 円)																																																			
(その他3)	)	0 円)																																																			

領収書No


旅行者 職・氏名・印	三重県議会議員 中嶋 年規 																																		
用途	震災2011シンポジウムへの参加																																		
調査日程 及び 調査先	平成 23 年 4 月 20 日 ~ 平成 23 年 4 月 20 日 大阪 都・道・府・県 (郡) 天王寺区 市・町・村 (調査先名称) クレオ大阪中央																																		
支出内訳	<table border="0"> <tr> <td>1 旅費</td> <td>10,620 円</td> </tr> <tr> <td>(運賃等1 近鉄 : 鷺方 ↔ 上本町)</td> <td>7,620 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等2)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等4)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(自家用車使用 30 円 × km =</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(宿泊費 16,500 円 × 0 泊 =</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(調査雑費 3,000 円 × 1 日 =</td> <td>3,000 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額1)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額2)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>2 付随する経費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(参加費、資料代等)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(手土産代 円 × 箇所 =</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他1 )</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他2 )</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他3 )</td> <td>0 円)</td> </tr> </table>	1 旅費	10,620 円	(運賃等1 近鉄 : 鷺方 ↔ 上本町)	7,620 円)	(運賃等2)	0 円)	(運賃等3)	0 円)	(運賃等4)	0 円)	(自家用車使用 30 円 × km =	0 円)	(宿泊費 16,500 円 × 0 泊 =	0 円)	(調査雑費 3,000 円 × 1 日 =	3,000 円)	(加減額1)	0 円)	(加減額2)	0 円)	(加減額3)	0 円)	2 付随する経費	0 円	(参加費、資料代等)	0 円)	(手土産代 円 × 箇所 =	0 円)	(その他1 )	0 円)	(その他2 )	0 円)	(その他3 )	0 円)
1 旅費	10,620 円																																		
(運賃等1 近鉄 : 鷺方 ↔ 上本町)	7,620 円)																																		
(運賃等2)	0 円)																																		
(運賃等3)	0 円)																																		
(運賃等4)	0 円)																																		
(自家用車使用 30 円 × km =	0 円)																																		
(宿泊費 16,500 円 × 0 泊 =	0 円)																																		
(調査雑費 3,000 円 × 1 日 =	3,000 円)																																		
(加減額1)	0 円)																																		
(加減額2)	0 円)																																		
(加減額3)	0 円)																																		
2 付随する経費	0 円																																		
(参加費、資料代等)	0 円)																																		
(手土産代 円 × 箇所 =	0 円)																																		
(その他1 )	0 円)																																		
(その他2 )	0 円)																																		
(その他3 )	0 円)																																		

領収書No

旅行者 職・氏名・印	三重県議会議員 中嶋 年規																																			
用途	米国ジョージタウン大学リーダーシッププログラムへの参加																																			
調査日程 及び 調査先	平成 23 年 4 月 29 日 ~ 平成 23 年 4 月 29 日 千葉 都・道・府・県 (郡) 成田 市・町・村 (調査先名称) 成田空港、アメリカ合衆国																																			
支出内訳	<table border="0"> <tr> <td>1 旅費</td> <td>41,450 円</td> </tr> <tr> <td>(運賃等1 近鉄 : 鶴方 → 名古屋</td> <td>3,480 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等2 JR (新幹線、成田エクスプレス) : 名古屋→成田空港</td> <td>18,470 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等3</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等4</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(自家用車使用 30 円 × km =</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(宿泊費 16,500 円 × 1 泊 =</td> <td>16,500 円)</td> </tr> <tr> <td>(調査雑費 3,000 円 × 1 日 =</td> <td>3,000 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額1</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額2</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額3</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>2 付随する経費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(参加費、資料代等</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(手土産代 円 × 箇所 =</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他1 )</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他2 )</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他3 )</td> <td>0 円)</td> </tr> </table>		1 旅費	41,450 円	(運賃等1 近鉄 : 鶴方 → 名古屋	3,480 円)	(運賃等2 JR (新幹線、成田エクスプレス) : 名古屋→成田空港	18,470 円)	(運賃等3	0 円)	(運賃等4	0 円)	(自家用車使用 30 円 × km =	0 円)	(宿泊費 16,500 円 × 1 泊 =	16,500 円)	(調査雑費 3,000 円 × 1 日 =	3,000 円)	(加減額1	0 円)	(加減額2	0 円)	(加減額3	0 円)	2 付随する経費	0 円	(参加費、資料代等	0 円)	(手土産代 円 × 箇所 =	0 円)	(その他1 )	0 円)	(その他2 )	0 円)	(その他3 )	0 円)
1 旅費	41,450 円																																			
(運賃等1 近鉄 : 鶴方 → 名古屋	3,480 円)																																			
(運賃等2 JR (新幹線、成田エクスプレス) : 名古屋→成田空港	18,470 円)																																			
(運賃等3	0 円)																																			
(運賃等4	0 円)																																			
(自家用車使用 30 円 × km =	0 円)																																			
(宿泊費 16,500 円 × 1 泊 =	16,500 円)																																			
(調査雑費 3,000 円 × 1 日 =	3,000 円)																																			
(加減額1	0 円)																																			
(加減額2	0 円)																																			
(加減額3	0 円)																																			
2 付随する経費	0 円																																			
(参加費、資料代等	0 円)																																			
(手土産代 円 × 箇所 =	0 円)																																			
(その他1 )	0 円)																																			
(その他2 )	0 円)																																			
(その他3 )	0 円)																																			

領収書No

政 務 調 査 等 報 告 書

旅 行 者 名 職 氏 名	中 嶋 年 規 
調 査 日 程 び 及 調 査 先	平成23年4月29日（1泊）（～5月7日） 成田空港 アメリカ合衆国ワシントンD. C. アメリカ合衆国ミシガン州
調 査 の 目 的	米国ジョージタウン大学リーダーシッププログラムへの参加
経 費 内 訳	別添「旅費等支出計算書」のとおり
調 査 概 要 等	（4月29日） 成田空港から翌朝出発のため前泊。  米国ジョージタウン大学リーダーシッププログラムの参加結果については別添の報告書のとおり。

(参考様式第2)

## 宿 泊 証 明 書

宿泊者氏名	中嶋年規 様
宿 泊 日	2011年4月29日から / 泊

上記のとおり宿泊したことを証明します。

2011年4月29日

ホテル日航成田  
〒286-0106 千葉県成田市取香509番地  
宿泊施設名 電話 0476-32-0032



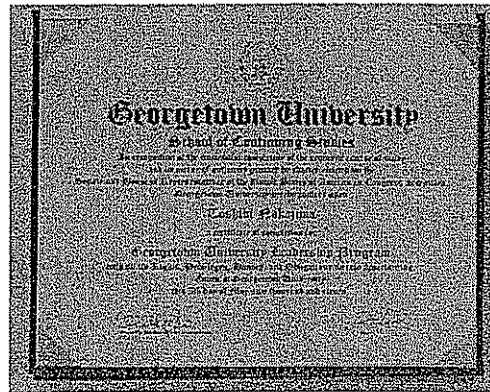
- ※ 上記様式は、政務調査用務で宿泊を要した場合に、宿泊先で発行を依頼し、旅費等支出計算書に添付するものとする。
- ※ 宿泊先で同様の内容が記載された宿泊先所定の証明書がある場合は、それをもって代えることができる。

# 海外政務調査報告書

米国ジョージタウン大学

リーダーシッププログラム

(H23.4.29~5.7)



三重県議会議員 中嶋 年規

平成 23 年 6 月 28 日

23100014

## <概要>

### ○ 今回のプログラムの目的と内容

日米関係の重要性を理解し、将来にわたり両国の友好関係を促進するキーパーソンを育成する目的で、ジョージタウン大と株式会社共同通信社が実施（協賛・日本アムウェイ）した「米国ジョージタウン大学リーダーシッププログラム」。ジョージタウン大での講義（日米関係論、国際関係論等）、人材交流、意見交換などを実施。

### ○ 講義内容

#### アメリカ合衆国の政治信条

- ・ 「機会の平等」を信条とするアメリカ合衆国憲法。地方政府の自律性、独立性を重んじた共和制・連邦制。

この考えに基づき国家として5つの目標（①正義の確立、②国内平穩の保証、③防衛力の提供、④総合福祉の促進、⑤自由主義の確保）の実現を目指す→民主党、共和党はこの5つの目標の解釈が異なる

#### 危機管理

- ・ 危機発生時、情報提供は真実を正確に、スピード感を持って提供。対応組織はスリム化、統一化。復興は目指す姿と責任者を明確に。
- ・ 危機管理の要諦＝リーダーシップと対応する組織の一元化。現場に近いところに権限

#### 日米関係

- ・ 最近の日米関係の課題＝「意思の力（Will Power）」の欠如。アメリカの同盟国として日本はイギリス、カナダに次ぐ三番目の地位にある。
- ・ 日本が東アジアで安定的な国力を保持するには、インド、オーストラリア、韓国とのパートナーシップが必要であり、アメリカにとって東アジアにおける日本の地位向上は戦略的に重要と考えている

#### 米国の経済政策

- ・ アメリカの今後の経済政策＝社会保障制度の見直し＋減税→行動経済学に基づく新たな経済政策の展開も。

#### 持続可能な都市づくり

- ・ Grandrapids市（ミシガン州）は持続可能な都市づくりを実現するため、総合計画のもとに5年間の実施計画とともに、環境配慮型の行政システムとまちづくりの取組を網羅した持続可能計画を策定。
- ・ 環境配慮型のまちづくり＝企業は環境配慮に心がけ、それをNPO等が評価・賞賛しポイント制などによって購買意欲を高め、行政はそれらの動きをPRするなどサポートする。

東日本大震災の影響が残るなか、平成 23 年 4 月末から 5 月上旬まで若手政治家を対象とした米ジョージタウン大学のリーダーシッププログラムへ参加した。このプログラムは共同通信社とジョージタウン大学が共催、日本アムウェイが協賛するもので、私は伊勢新聞社からの紹介のもと応募し、全国から選ばれた 8 名（前衆議院議員、都県議会議員 7 名）の一員として主に日米間の政治、経済の課題や将来展望、危機管理などについて著名な講師からのレクチャーを中心に学ぶ機会を得た。

ジョージタウン大学は米国の首都ワシントン D. C. 郊外にあり、創立から 220 年を越える私立大学。クリントン元大統領やフィリピンのアロヨ元大統領、緒方貞子元国連高等難民弁務官など各国首脳を多数輩出している。

最初の講義は、この大学で現在もっとも注目されている全米若手研究者優秀表彰を受けたばかりの 30 代前半のポトリッチョー准教授。米の政治システムの成り立ち、「機会の平等」を信条とする米連邦憲法の考え方、地方政府の自律性、独立性を重んじた共和制・連邦制などについて学んだ。さすが人気の高い先生だけありその話術とポイントを絞った簡素な分かりやすい説明、熱意たっぷりの姿勢によって授業に引き込まれ、まるで学生に戻ったような気分になれた。



← ジョージタウン大学での授業風景

次の講義は 9.11 同時多発テロ発生の際にブッシュ大統領の次席補佐官を務めていたブラッドリー・ブレイクマン氏の講義。テロ発生という危機発生時にはリーダーが国民に対して「真実を正確に、スピード感を持って」情報提供をすることが大切であり、その情報が正しいか誤っているかを検証するのは後から行なえばよいこと。また復興を図るにはその目指す姿と責任者を明確にし、省庁横断的でスリムな組織を立ち上げ（米国では国土安全保障省を同時多発テロ後に設置）、復興に向けた機能を集中させるべきであるとの体



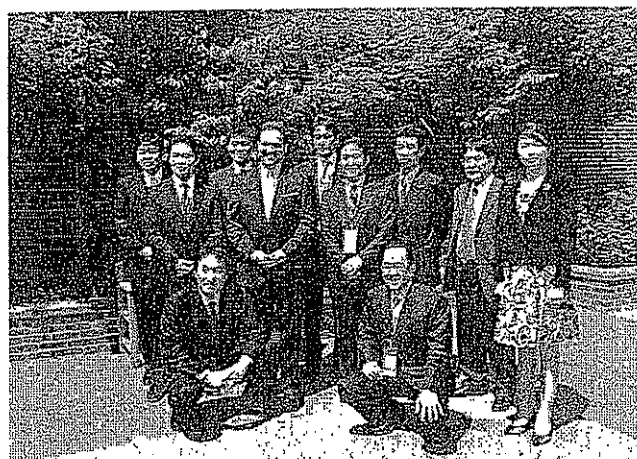
験に基づく話があった。これは東日本大震災からの復興を目指す日本にとって参考になるアドバイスと受け止めている。

この講義を受けた夜に、折りしも同時多発テロの首謀者とされるテロ組織アルカイダのリーダーであるビンラディン容疑者の殺害という国際的なニュースを、その発信地であるワシントンD.C.で体感する貴重な機会も得ることとなった。

マイケル・グリーン氏とともに



二日目には日本の安全保障政策を専門としているマイケル・グリーン氏から日米安全保障の今後についての講義。最近の日米の関係を語るなかで「経済力」や「軍事力」が課題ではなく、日本に「意志の力 (Will Power)」



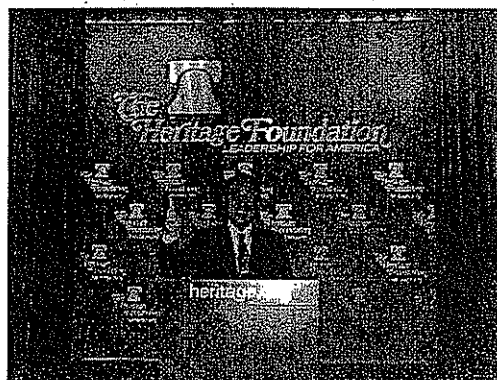
が欠けていることが大きな問題であるとの指摘があった。この「意志の力」とは、日本のリーダーが「米国は無くしてはならない同朋であり、米国とともに世界の平和と繁栄を担っていくんだ」という強い「覚悟」を示すことである。米国にとって中国は重要なパートナーではあるが、日本は米国と運命を共にする同盟 (Ally) であるというメッセージもあった。少し極端な考えを示しはしていたが非常に分かりやすい内容であった。

講義のなかで彼の個人的感想として、日本のこれまでのリーダーでもっとも「意志の力」を示していたと高く評価するのは小泉純一郎氏であり、逆に低く評価をしているのは鳩山由紀夫氏であること、そして今もっとも注目している政治家は前原誠司前外務大臣や細野豪志内閣総理大臣補佐官である、というのはとても興味深いものであった。さらに日本が大震災からの復興を図るため、その経済力をさらに発揮するには「女性の労働力活

用」と「TPP への参加」が必要になってくるだろうとの私見も披露され、特に TPP 参加問題については私たちから多くの疑問と議論を行なうこととなった。

その日はさらに「米国の危機管理対応」というテーマで米国危機管理局（FEMA）のケン・パリス氏の講義や共和党系シンクタンクであるヘリテッジ財団を訪問。最後はクリントン政権時のコーエン前国防長官を交えた夕食会に参加。幸いにも同じテーブルで会食をしながら今回のビンラディン殺害によってオバマ大統領の支持は一時的に上がるものの景気対策を巡る混乱で再び低下するとか、次の大統領選において共和党からジュリアーニ前ニューヨーク市長が立候補するとオバマ大統領にとって最大の競争相手になるという期待や見方があるなどといった示唆に富んだ話を直接聴くことができ、食事の内容を忘れるほど貴重な時間を過ごすことができた。

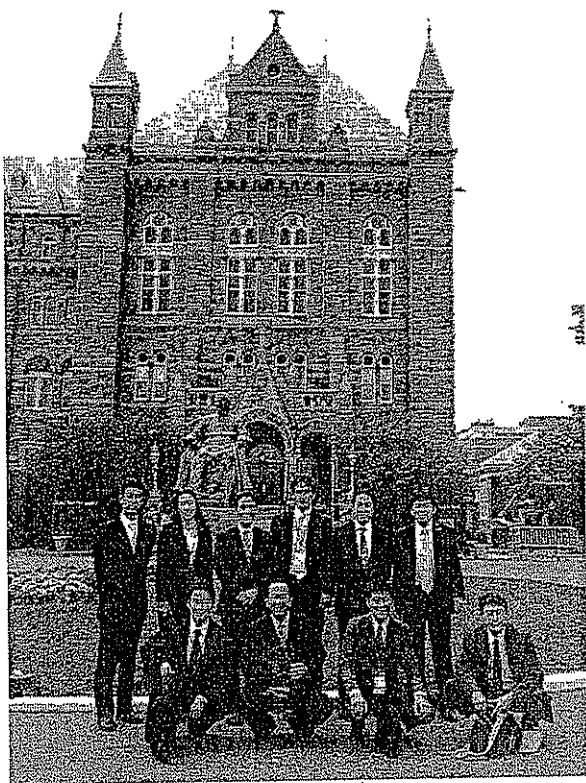
ヘリテッジ財団のホール演題にて →



三日目はまさにそのオバマ政権の経済政策についての講義。リーマンショック以降、金融機関の貸し渋りと消費減少によって景気は低迷したままとなっており、来年（2012年）に再選を目指すオバマ政権にとって景気対策は最重要課題となっている。一方で社会保障制度の見直しによる財政支出の大幅増加（民主党的な政策）と減税政策の実行（共和党的な政策）という一見相反する政策（わが国の「強い経済・強い財政・強い社会保障」と類似？）が国民の支持と理解を得られないなかオバマ政権の経済政策は行き詰っている、との解説がなされた。

大恐慌の際に行なったニューディール政策でもなく、規制緩和を中心とした市場原理主義政策でもない、政府にとって望む経済行動を国民が無意識に行なうといった行動経済学に基づく新たな経済政策の展開がひとつの

突破口になりうるとの議論があり、同じく景気低迷に苦しむわが国にとっても参考となることから多くの質問が集中した。



ジョージタウン大学の校舎を背景に（後列右から2番目が中嶋）

講義を終え午後からは日本大使館の藤崎一郎大使を表敬訪問。日本大使館へ入る際のセキュリティチェックは、今回の米国訪問中でもっとも厳しいものであった。このことは逆に日本大使館の高い安全性を証明したものであるとして評価できると感じた。

この日のクライマックスは日本から訪米中の民主党、自民党、公明党、みんなの党の若手国会議員とともに日系のベテラン議員であるイノウエ上院議員主催のレセプションへ参加。藤崎大使とも再びお会いするとともに、日米の有力企業の責任者や米国上院・下院議員と名刺交換をしながらさまざまな話題で盛り上がる事ができた。



イノウエ上院議員とともに

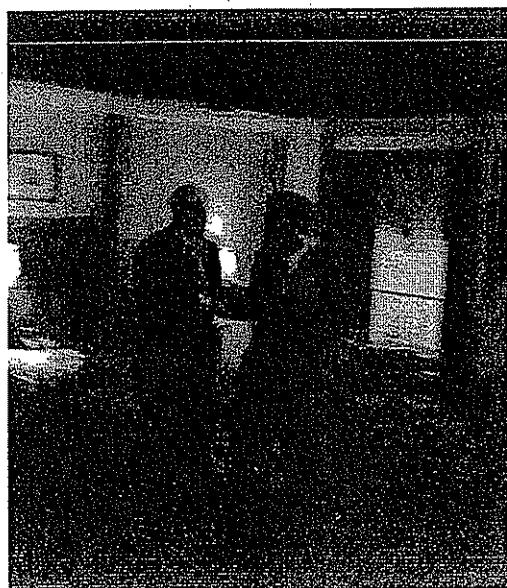


国会議事堂（キャピトルヒル）を背景に（左から2番目が中嶋）

私たちのワシントンD.C.滞在はこの夜まで。翌日はアムウェイ社の本社があるミシガン州グランドラピッズ市へ。その移動手段はアムウェイ社所有のジェット機（プライベートジェット）である。国際空港に隣接する特設ゲートから搭乗するのだがその手続きは非常にスピーディで簡単。一般旅客機搭乗の際に感じるさまざまなストレスを全く感じることはない。生まれて初めて進行方向と逆向きに座ってのテイクオフを体験。そのスピードや高度は一般旅客機を上回るもので非常に快適であった。広大なアメリカ大陸を股にかけて働くビジネスマンや政治家にとってプライベートジェットは欠かせないものであることを体感することができた。



グランドラピッズ到着ののち、昼食会場のハンバーガーレストランへ。なんとそこには 9.11 同時多発テロの際に陣頭指揮をしたニューヨーク市の前市長であるジュリアーニ氏が私たちを迎えてくれた。二日前の夜に前国防長官のコーエン氏が「共和党の次期大統領候補の最有力」と解説してくれた人物である。ジュリアーニ氏を囲みハンバーガーをほうばりながらワールドトレードセンターが崩壊した際の体験話に耳を傾けた。



「危機管理の要諦は、リーダーシップと対応する組織の一元化。同時多発テロの際には連邦政府、ニューヨーク州、市の代表が一日 3 回のミーティングを 3 ヶ月休みなく続け、人事交流も行いながら縦割りではない一体的な対応を図ることができた。この経験は必ず日本の皆さんが直面している大震災や原発事故の課題解決に役立つと信じている」、「災害復旧の際に大変だったのはガレキの処理と遺品の取り扱いだった。できるだけ速やかな作業の実施と、遺体や遺品をていねいに収集することの間で非常に苦しい思いをした」・・・彼のこうした回顧講演を日本で行なうとすると一時間で約 800 万円の講演料が必要になるとのこと。私たちは 800 万円分のハンバーガーを食べることができたわけである。私から最後に「次期大統領選挙へ挑戦する意思はあるのですか」と質問したところ「Only God could know (神のみぞ知りうるでしょう)」とはぐらかされてしまった。

夢のようなランチを済ませ興奮冷めやらぬなか次は日本でも有名なオフィス用品を販売しているハーマンミラー社の工場がある隣接のジーランド市へ。ゼロエミッション、ゼロ工場排水、エネルギーの 100%再利用率など全米でももっとも環境に配慮した工場として全米環境評価協会から表彰を受けている。この工場立地を契機に、地元ジーランド市は環境配慮型の企業誘致を目玉に環境先進都市づくりを進めている。

夕食は親子二代 30 年以上ジールランド市長を担っているレスター・フーグランド氏、ハーマンミラー社幹部、アムウェイ社幹部の皆さんとミシガン湖畔のレストランにて。ゆったりとした時間を過ごすものの、アメリカ特有（？）の胃にもたれる食事の連続と慣れない英会話、なぜかとても進むお酒のトリプルインパクトで私たちメンバーはさすがにお疲れモードであった。

疲れが出始めた最終日は朝 8 時 30 分から 3 名のパネラーによる最近日本でも話題になる持続可能性（サステナビリティ）に関する講義。

最初にグランドラピッズ市アシスタントシティマネージャー（副市長のような職位）のエリック・ディロング氏から「持続可能な都市づくり」。グランドラピッズ市は官民パートナーシップ（PPP）に基づきすべての行政システム、まちづくりを環境配慮型としていくため、総合計画のもとにそれぞれ 5 年間の実施計画と持続可能計画を策定し PDCA サイクルのもと持続可能な都市づくりに挑戦しているとのことであった。

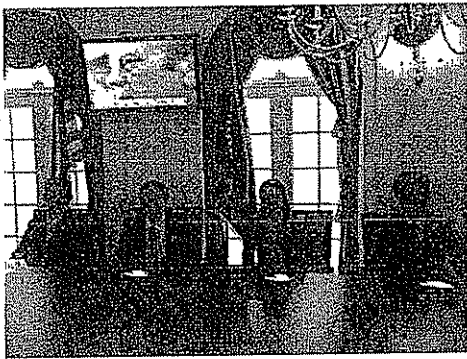
二人目はカスケード・エンジニアリング社のクリスティーナ・ケラー氏から行政、非営利団体、企業の三者がどのように地域の持続可能性を追求すべきかについて自社の取組を踏まえながら紹介。「行政は規制ばかり、非営利団体は企業への文句ばかり、企業は利益のみ追求」では負のサイクル。「企業は環境配慮に心がけ、それを非営利団体が賞賛し購買意欲を高め、行政はそれらの動きをサポートする」というサイクルを作り上げることが重要であるとの認識が示された。

三人目は非営利団体“Local First”のダン・トリュール氏から環境に配慮した企業や商品を応援する取組を全米で展開している NPO 法人の活動報告。企業や個人、行政から NPO への財政支援をもとに環境配慮型企业や商品の紹介、地産地消運動、一般家庭のリサイクルにポイント（商品購入に利用できる）を付与するなどの活動を展開することで西ミシガン地域において売上 10%増、1600 名の新規雇用を生み出すなどの成果が披露された。

最後の講義はグランドラピッズ市ダウンタウン開発局ジェイ・フォウラー氏の中心市街地再開発について。バリアフリー、コンパクトシティ、新

交通体系といった日本のまちづくりと同じ考え方による取組が行なわれていることが分かった。特色としては市場ニーズ調査を専門機関に委託し中心市街地での企業活動が魅力的となるまちづくりを心がける点と、中心市街地の開発設計を若手有望建築家に依頼し景観づくりに配慮する点であると感じた。

これらの講義が終わったあとはアムウェイの本社と米国大統領として初めて日本を訪問した当地出身のフォード大統領の功績を讃えたフォード大統領記念館の見学。フォード財団が運営する記念館はほぼ年中無休で入場料は大人7ドル（約600円）。フォード氏の生誕から学生時代、政治家としての活躍や苦悩、大統領退任後の生活や社会貢献活動まで彼の生涯にわた



る展示、ニュース映像を含めたさまざまな映像による解説に加えホワイトハウスの大統領執務室や閣議室などが原寸大で再現され大統領気分を味わえる体験型のコーナーもある。多数の演説の映像を通じ、リーダーにとって言葉は大切であることを改めて感じる事ができた。

フォード記念館内に再現された閣議室（左から2番目の大統領席が中嶋）

すべての講義と現地調査を済ませたあとはグランドラピッズ市を見渡せるレストランでの卒業セレモニーと夕食会。最終日の講師の方々に加えワシントンD.C.からジョージタウン大学関係者も交え、修了証書を手渡していただき、リーダーシッププログラムは全日程を終えることとなった。



<最後に>

今回はビンラディン殺害という大ニュースが駆け巡り、オバマ大統領というリーダーの言動に注目が集まるなかでの訪米となった。こうしたなか行なわれたプログラムでは、なかなか出会えることのできない著名な講師陣やゲスト、特に9.11同時多発テロ発生時に危機管理対応に携わった当事者から直接貴重なレクチャーの数々を得ることができた。リーダーに求める資質として「ビジョンを描く力、危機管理の能力」を異口同音に彼らがおっしゃっていたのが印象的であった。さらに、日米の関係は非常に重要であり、単なるパートナーではなく同盟 (Allly) であるという強いメッセージもさまざまな方々からいただいた (と言いつつ英語と中国語の表記で作られた名刺はいくつかももらったが、日本語と併記された名刺がなかったのは残念である)。

また、私が日本人であるということが分かると、東日本大震災の被害と原子力発電所事故へのお悔やみの言葉を全ての出会った方々 (レストランやショップの店員も) からいただいた。「トモダチ作戦」は全米各地に浸透していることが理解でき、人と人の絆の大切さとアメリカ合衆国の懐の深さを改めて感じた訪米となった。最後にこうした素晴らしい機会を与えてくださったすべての皆様に心から感謝を申し上げたい。



<日程>

## Georgetown University Leadership Program

April 29 - May 7, 2011

---

### Friday, April 29

Stay at the hotel near the Narita Airport for tomorrow's departure

### Saturday, April 30

11:05

NH2 Depart from Narita

10:40

Arrive at Washington DC

18:00-19:00

Welcome reception at Georgetown University Philodemic

### Sunday, May 1

Georgetown University Day 1

10:00-12:00

Prof. Sam Potolicchio "The Founding of the Republic and Federalism"

Lunch

13:30-15:30

Prof. Bradley Blakeman "The American Political System"

### Monday, May 2

Georgetown University Day 2

10:00-12:00

Prof. Michael Green "US-Japan Security"

Lunch

13:30-15:30

Panel presentation with former White House, FEMA, and local emergency management personnel who responded to Hurricane Katrina

"Emergency Management and Disaster response"

18:00

Reception/Dinner at Willard Intercontinental Hotel "Pierre Room"

Tuesday, May 3

Georgetown University Day 3

10 : 00-12 : 00

Dr. Michael Bailey "Future Directions in U. S. Economic Policy"

12 : 00-13 : 30

Lunch buffet

15 : 00

Courtesy visit to Ambassador Fujisaki at Embassy of Japan

16 : 00

Capitol Hill VIP tour

Wednesday, May 4

10 : 00

N522AC Depart from FBO Landmark Aviation

11 : 30

Arrive at Grand Rapids

12 : 30

Lunch at Bulls Head Tavern

Attedee : Rudolph Giuliani , former NY City Mayor

14 : 30

Arrive Harman Miller

14 : 45

Welcome by Lester Hoogland, Zeeland City Mayor

Brief overview of Herman Miller sustainability program and followed by tour of the green factory by Larry Dykhuis, Manager Corporate Environmental Affairs

18 : 00

Dinner at Boatwerks,

Thursday, May 5

Grand Rapids Day 1

08 : 30-10 : 30

Panel discussion

① Eric DeLong, GR Assistant City Manager, and Harris Alibasic, Grand Rapids Admin. Analyst  
Topic: City sustainability plan

② Christine Keller, Cascade Engineering  
Topic: Green Infrastructure and Regional Sustainable Manufacturing (triple bottom)

③ Guy Bazzani, Founder of Local First  
(non profit organization)

Topic: Local First

10 : 30-11 : 30

Jay Fowler, GR Director, Downtown Development Authority  
Topic: Public-private partnership

14 : 15

Tour Amway Welcome Center, R&D, Manufacturing

16 : 00-17 : 00

Visit the Gerald R. Ford Museum.

Host: Joe Calvaruso, Executive Director Gerald Ford Presidential  
Museum Foundation

18 : 00-

Graduation Ceremony

Joe Calvaruso, Executive Director Gerald Ford Presidential Museum Foundation,

Rick Baker, President of the Grand Rapids Area Chamber of Commerce

Gary Justice, Legal Counsel, Amway Corporation

Bryan Harrison, Yuichi Takagi, Sales, Amway Corporation,

Shinji Otsuka, Amway Japan

Robert Manuel, Georgetown University

Christopher Augustini, CFO of Georgetown University

Eric DeLong, Grand Rapids Assistant City Manager

Jay Fowler, Director, Grand Rapids Downtown Development Authority

Christine Keller, Cascade Engineering,

Guy Bazzani, Founder, Local First

### Friday, May 6

#### Grand Rapids Day 2

07 : 00

Depart for airport

07 : 30

Arrive Gerald Ford International airport

09 : 08

UA5986 Depart from Grand Rapids

09 : 04

Arrive at Chicago O' Hare

10 : 50

NH11 Depart from Chicago

### Saturday, May 7

13:45

Arrive at Narita

<ジョージタウン大学リーダーシッププログラム参加者>

指山 清範	佐賀県議会議員	自民党
鈴木 定幸	茨城県議会議員	自民党
中嶋 年規	三重県議会議員	自民党
中原 好治	広島県議会議員	民主党
西銘 恒三郎	前衆議院議員 (沖縄4区)	自民党
野上 ゆきえ	東京都議会議員	民主党
林 幹人	千葉県議会議員	自民党
三浦 公	大分県議会議員	自民党

(五十音順)

# 資料購入費

23100029

# 政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 04 月 26 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 図書購入費	
使途用途	用途1 ガバナンス4月号		800 円
	用途2 「首長たちの革命」		1200 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	2000 × 100% =	2000 円
根拠			

23100030

No. \_\_\_\_\_

中嶋としき 様

三重県志摩市阿児町鷲方2971-2

ブックハウス 中



23年 4月 23日

TEL (0599)43-2706

下記のとおり

申し上げます

合計金額

¥ 800-

月日	品名	数量	単価	金額	摘要
	ガビナス④	1		800	
(A large diagonal line is drawn across the table, and a large oval is drawn around the 'ガビナス' entry.)					
	合計	1		800	

コクヨ テー25

領 収 証

中嶋としき

様

No. \_\_\_\_\_

★

¥ 800-

但

4月分

23年 4月 25日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等( %)

三重県志摩市阿児町鷲方2971-2

ブックハウス 中



TEL (0599)43-2706

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

23100031

ISBN978-4-86410-077-9  
C0095 ¥1143E



9784864100779

定価(本体1143円+税)  
飛鳥新社



1920095011431

### 別所書店 津駅店

別所書店 津駅店  
電話 059-226-0200  
三重県津市別所町1191-1 津ステ  
ーションビル3F  
〒514-0009

2011/04/26(火) 19:26  
No.01-1000489766

扱:6170

013-978-4-86410-077-9

文芸

01200

1点

¥1,200

合計商品点数

合計

(消費税別)

¥1,200

1点

¥57

お預り

¥10,200

お釣り

# 首長たちの革命

河村たかし、竹原信二、  
橋下徹の仕掛けた  
「戦争」の実像

## 出井康博

飛鳥新社

河村たかし、竹原信二、橋下徹の  
仕掛けた「戦争」の実像

# 首長たち



# の革命

## 出井康博

飛鳥新社



# 政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 04 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費	
使途用途	用途1 新聞購読料		9920 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	9920 × 30% =	2976 円
根拠	政務調査、個人事務所、私用として共用のため30%を計上		

23100033



領収証

23年 4月分

01-001 (No. 61)

照会No. ( 154)

中嶋 年規 様

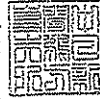
銘柄名	部数	金額
中日新聞 (朝刊)	1	2,900

合計金額

2,900円

お問い合わせは……  
フリーダイヤル 0120-43-0325 迄

中日新聞株式会社  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
朝日新聞ビル5階  
TEL 03-5561-1111



うち30%の 870 円を計上

ASA 領収証

平成 23 年 4 月分

[0010]0019-00

お問合せNo. 15

中嶋 年規 様

銘柄	部数	金額	備考
伊勢新聞	1	2,840	

合計金額

2,840円

毎度ご購入、まことに  
有り難うございます。  
\*金額には消費税が  
含まれています。

ご近所に、ご転入の方ございましたら  
お知らせ下さい。  
フリガナつきでわかりやすいニュース解  
説。親子で読もう！朝日小学生新聞

志摩市阿児町瀬方1998-11



朝日新聞阿児専売所 朝日新聞サービスマン

20110420 200138

TEL 0599-43-0780

うち30%の 852 円を計上

ASA 領収証

平成 23 年 4 月分

[0010]0018-00

お問合せNo. 14

中嶋 年規 様

銘柄	部数	金額	備考
朝日夕刊	1	1,500	

合計金額

1,500円

毎度ご購入、まことに  
有り難うございます。  
\*金額には消費税が  
含まれています。

ご近所に、ご転入の方ございましたら  
お知らせ下さい。  
フリガナつきでわかりやすいニュース解  
説。親子で読もう！朝日小学生新聞

志摩市阿児町瀬方1998-11



朝日新聞阿児専売所 朝日新聞サービスマン

20110420 200138

TEL 0599-43-0780

うち30%の 450 円を計上

※ 新聞については政務調査・個人事務所・私用として共用しているため政務調査費としては購読料の30%を計上している。

23100034

新聞購読料 領収証

中嶋 年規 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2011 年 4 月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,880

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

うち30%の 564 円を計上

販売店 松本 清幸  
住所 志摩市磯部町沓掛91-11  
TEL 0599-55-0816 FAX 0599-55-2910



お申込No. 24022-23105(072)-4

~~うち30%の 円を計上~~

中嶋 としき

「しんぶん赤旗」日曜版 1 800

800

2011 4

「赤旗」南部販売所  
伊勢市一之木5丁目1-28  
電話 0596-23-1971  
FAX 0596-23-3859

4 > 8

うち30%の 240 円を計上

※ 新聞については政務調査・個人事務所・私用として共用しているため政務調査費としては購読料の30%を計上している。

23100035

事 務 費

23100036

# 政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 04 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費	
使途用途	用途1 固定電話通信料		4618 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	4618 × 30% =	1385 円
根拠	政務調査、個人事務所、私用として共用のため30%を計上		

23100037

西日本電信電話株式会社領収証 (Receipt)

お客様名 中嶋 年規 様

平成 23 年 5 月 14 日発行

お客様番号 (0599)43-0344

平成 23 年 4 月分	
領収金額 (Amount paid)	6,928 円
内 電話料金等	6,599 円
外 消費税等	329 円
金融機関名 * * * * * 口座番号 * * * * * 当請求書は、お客様（個人）にのみ発行され、本請求書は、お客様にのみ発行され、 別添の領収書にて、ご領収ください。	

右記の金額を平成 23 年 4 月 25 日現在までにお支払い  
願います。

印紙税申告納  
付につき名古屋中  
税務署承認済

NTT西日本  
名古屋支店  
〒460-0011  
名古屋市中区 大須  
4丁目 9-60



NTT西日本

西日本電信電話株式会社

三重支店

料金お問い合わせ 0120-159424 (無料)

〒514-0003

津市 桜橋

2丁目 149



4/1~4/10の3ヶ月分は統一地方選挙期間を考慮し対象外  
 ∴ 6,928 × 2/3ヶ月 = 4,618円が対象

うち 政務調査・個人事務的・私用として共用のため  
 政務調査費として30%の1,385円を計上